

# 病院報告の概況

## 1 在院患者数

平成 28 年の年間の在院患者延数は 4,710,916 人（前年 4,721,218 人）で、新入院患者延数は 111,814 人（同 109,996 人）、退院患者延数は 111,860 人（同 109,982 人）である。1 日平均に換算して在院患者数を見ると 12,871.4 人（同 12,934.8 人）で、前年に比べ 63.4 人減少している。

一日平均在院患者数を病院の種類別にみると、一般病院では 10,500.9 人（総数の 81.6%）で、前年の 10,530.4 人に比べ 29.5 人減少し、精神科病院では 2,370.4 人（同 18.4%）で前年の 2,404.4 人に比べ 34.0 人減少している。

また、これを病床の種類別にみると、一般病床では 5,167.0 人（総数の 40.1%）で、前年の 5,154.1 人に比べ 12.9 人増加し、精神病床では 3,757.7 人（同 29.2%）で、前年の 3,771.5 人に比べ 13.8 人減少している。また、結核病床では、19.7 人（同 0.2%）で前年の 22.6 人に比べ 2.9 人減少している。

なお、療養病床では 3,926.9 人（総数の 30.5%）で、前年の 3,986.7 人に比べ 59.8 人減少している。

## 2 外来患者数

平成 28 年の年間の外来患者延数は 3,814,935 人（前年 3,873,068 人）である。1 日平均に換算すると患者数は 10,423.3 人（同 10,611.1 人）で、前年に比べ 187.8 人減少している。

一日平均外来患者数を病院の種類別にみると、一般病院では 9,716.7 人（総数の 93.2%）で、前年の 9,912.3 人に比べ 195.6 人減少し、精神科病院では 706.6 人（同 6.8%）で前年の 698.8 人に比べ 7.8 人増加している。

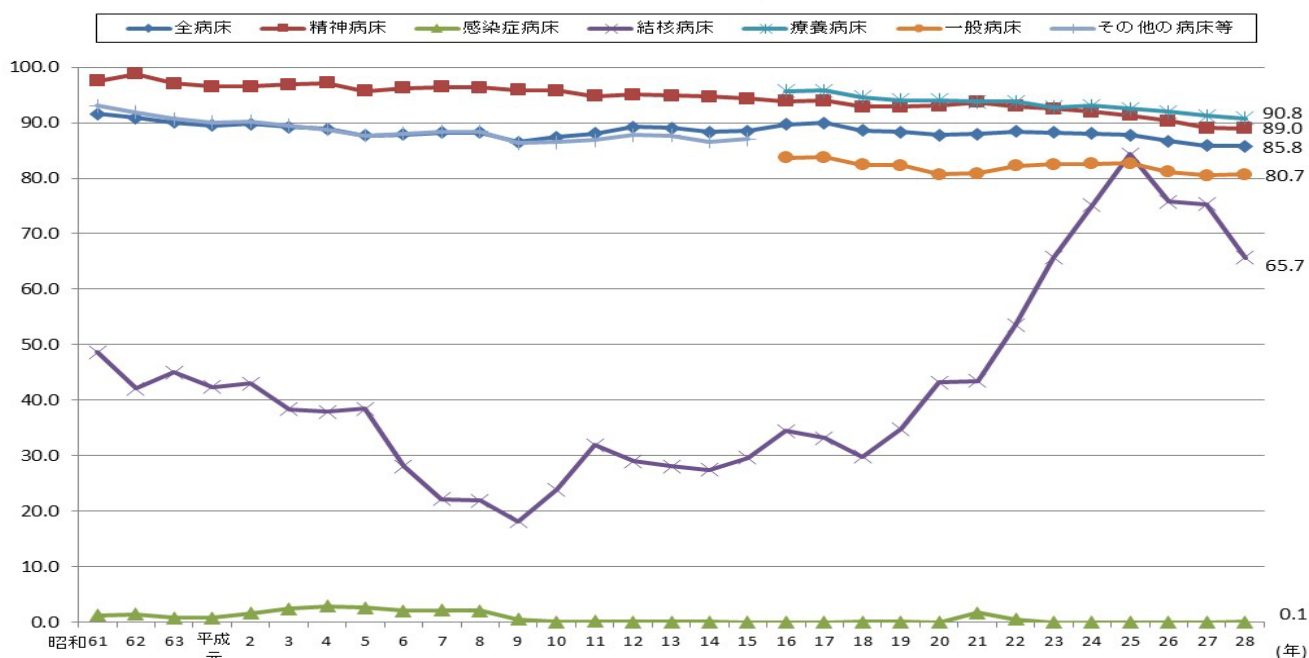
## 3 病床利用率

全病床における病床利用率は 85.8%（前年 85.9%）で、前年に比べ 0.1 ポイント減少している。

病床の種類別にみると、療養病床における病床利用率が 90.8%（同 91.2%）で最も高く、次いで精神病床が 89.0%（同 89.1%）となっている。

保健所別では、鳥栖保健所が 89.2%と高く、佐賀中部保健所及び唐津保健所が 83.6%と低くなっている。

図1 病床利用率の年次推移(佐賀県)



(注) その他の病床等は平成 16 年から療養病床と一般病床に分けて表示している。